

笑いは幸田町の役に立つか？

幸田町生活学校から請渡依頼が来た。日常生活の工夫・改善・向上に取り組み、夏面自注会である。いつもと少し違う試みとして、草野尋常学校笑楽校の「笑い」の話を聞いてほしいとのこと。この日の話を聞いて、ホキホキに尻尾を振るくらい嬉しかった。笑楽校は2年余休講中と「せつ校長杉浦康司」の肩書きも怪しくなってきた。がり年間の授業の笑績がありネタは十分あった。マコフの下で笑いとこらえている婦人もいた。あまげの喋ったシルバリー柳カウケ「今夜思い出して笑って眠れないかも」



浪越徳次郎さんの話
浪越先生から通に聞いた話

「笑いはいいとこらえている婦人もいた。あまげの喋ったシルバリー柳カウケ「今夜思い出して笑って眠れないかも」



今日はどんな面白い話から

ときうんもいた。先寝るぞ「安らかぬ」と返す妻。骨が疼り、知人も減るが口減らす等々。生活学校の中に「笑いと必修科目にしてほしい。編集長になつて8年。デニリーの陰で3回「たより」を発行してきている。経営が

カラーはいい!



今号で「や」と全ページカラー印刷が復活した。12千人を月に読んで貰う張り合いがある。「退職してモニターある」

ミリーの「愛」であつてほしい」と言つた人のココロを説いて叶えて行くたい。基本理念は滑稽新聞にも通じているが、明るく、未来志向とユートピア精神(笑)だ。



たよりの編集会議時デニリー 幸田町

感字在菩薩の大事典

似語10 春の訪れを告げるのはニニン。青春の終わりを告げるのはニニン。口食はは俺の妻。美貌は他人(女と)の妻。花粉は上半身。不感症は下半身。死語20 細君→今は太君と変わる。夜なべ→もう母さんは手袋なんが編まぬ。公僕→今や保身と欲に任せる。私僕→「私僕」になつてしまった。誤話25 枕詞「いふこと」と言つた恋人の口おぬだりう言葉。一年の飛行機もパソコンもケータイも知らなかつた。花様

発汗複感

子ど通之よう、と料理教室で真面目に練習した。見た目にも味も良くできたのだが、いざ本番となつたら... 「性格陽性はO、陰性はX」との常識は今や昔の如し。陰性なら安心。陽性だとヤバイ。時代は変わった。今年も春の到来と共に燕がやって来た。例により、車庫のマイカーは追い出され、スワロ



私が作った焼餅

「今年も我が山の翁は豊作。今年も春の到来と共に燕がやって来た。例により、車庫のマイカーは追い出され、スワロ」

新旧の燕巢

他の翁はと食べられぬ。と言つた声は何とも嬉しい。翁摘りの秋隊として来たる弟賢治。奥歯が割れて6年ぶりに歯医者で治療。これぞ真正銘の「歯医者復活」。4月15日、桜咲くクリスマスロス号、我が家はフラワーパークになる。



今年の初収穫 4月10日